

会 議 記 録			
会 議 の 名 称	決算特別委員会 環境厚生分科会	会議場所	第1委員会室
		担当職員	八木
日 時	平成23年9月27日(火曜日)	開 議	午前 10 時 00 分
		閉 議	午前 10 時 33 分
出席委員	◎吉田 ○苗村 山本 酒井 竹田 眞継 中澤 立花 明田		
傍聴者	市民 一名	報道関係者 一名	議員 一名()

会 議 の 概 要

1 開議

2 委員長報告の確認

<吉田委員長>

報告案朗読

<立花委員>

一般会計反対討論部分について、他の論点も指摘した。「くらしの資金通年化等」とされたい。

<吉田委員長>

指摘のとおりとする。

<全員了>

3 事務事業評価結果の確認

<中澤委員>

火葬場等経費、現場職員の勤務態度を好評している部分は不要ではないか。

<吉田委員長>

委員会で盛り込むと結論されたが。

<眞継委員>

ごみ減量・資源化等推進事業経費、事業者との連携による発生抑制の推進とは具体的にはなにか。

<吉田委員長>

簡易包装の実施等である。

<立花委員>

連携拡大の「拡大」は意味なし。削除を。

<吉田委員長>

削除する。

<全員了>

<立花委員>

シルバー人材経費、「注力」の語は難解。

<吉田委員長>

「力をそそぎ」とする。

<全員了>

<明田委員>

シルバー人材経費、センターが行う事業内容の拡大との指摘であるが、市が行う業務として、センター自体の活動内容まで踏み込めるのか。市が事業手法の指導を行えるのか。

<吉田委員長>

自立を促す手段として、補助金の削減のみではなく業務範囲の拡大を促すことで収益改善に繋がることなどを意図して意見としている。

<酒井委員>

社会福祉協議会経費、市民目線での分かりやすい事業広報の実施主体は。

<吉田委員長>

社協が行う広報と意図している。本来的には事務事業評価の対象範囲を逸脱していると考えますが、議論の過程で幅を持たせて評価することとしていたものである。

<酒井委員>

私立保育園保育委託経費、保護者負担に係り、公的保育の面からの各園の統一性とは。市が指導すべきことなのか。

<立花委員>

バスを利用しないにも関わらず協力金という名目で保護者から費用を徴収している事例である。公的保育は一定の基準に基づき市が指導して行うもの。

<酒井委員>

予防接種経費、個別の通知にすべき。

<吉田委員長>

一概に個別通知と言えないのではないか。

<立花委員>

予防接種法に基づくものは全て個別通知とすべき。

<吉田委員長>

法定予防接種全てを個別に通知すべきとは言えない。

<苗村副委員長>

個別通知では誤解を呼ぶ、丁寧な通知で意図は伝わる。

<明田委員>

お知らせ等で一定は周知されている。

<立花委員>

お知らせが届かない地域等がある。

<竹田委員>

お知らせ等が届かない地域はあろうが、転入時や出生時、検診時等で何らかの情報提供は受けるはずである。それらを補完する意味合いで丁寧な通知とされたい。

<明田委員>

全く情報に接しない市民はごく僅かであろう。

<苗村副委員長>

審議の中で通知に関し十分に実態を把握しきれていなかった。個別の通知を求めるのではなく、全体的な改善を求める意味で丁寧な通知とされたい。

<吉田委員長>

原案のままとする。

<全員了>

4 その他

<吉田委員長>

重点質疑は全体会で決定するが、意見はないか

<明田委員>

ごみ減量・資源化等推進事業経費、意見として付した3点について。

<吉田委員長>

現地調査の希望は。

<明田委員>

なし。

散会 ～10:33